

2019年10月09日 3面

文字サイズ 小 中 大 ブックマーク 印刷

大林道路／北九州市で新入社員向けコンクリ舗装施工見学会開く



新入社員 7 人が参加した

大林道路は、2019年度の新入社員を対象にコンクリート舗装の施工見学会を実施した＝写真。北九州市小倉南区にある北九州空港内の工事現場で、同社が開発した「簡易コンクリートフィニッシャ」を使用した舗装工事を紹介した。施工方法の概要やコンクリートの打設方法、養生方法、管理方法などを説明。実際の施工現場を見学し、新入社員の知識向上を図った。コンクリート舗装の歴史やメリットとデメリットなども講義し、理解を深めてもらった。

同社九州支店管内研修中の新入社員 7 人が参加した。空港内という特殊な環境やさまざまな制約がある中で高い管理がレベル求められることを理解してもらった。

参加した新入社員からは「簡単に入れない空港内の大規模なコンクリート舗装の現場や自社開発の施工機械を新鮮な気持ちで見学できた。貴重な経験となった」「規模の大きさとコンクリート版の仕組みや強固さに驚いた。海上空港という環境での施工の大変さを感じた」などの感想が挙がった。

閉じる

記事ID：3201910090306

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます